

2021年6月新刊

# 日本の城辞典

## 歴史学者 小和田哲男氏推薦!



### 日本の城址 10,038 データを1冊に完全収録!

今も行ける城址の所在地・立地・年代・城主・遺構・概要などを網羅

### 城址データ集の決定版 登場!

日本全国一万三千八百古城址を収録  
 驚愕の10,038 データを収録!  
 これだけの数の城を一冊で一覧できるのははじめてである。

編著 日本城址研究会  
 歴史学者 小和田哲男氏推薦!

名称	所在地	年代	城主	遺構	備考
① 出羽国最上郡 最上郡 最上城	山形県最上郡最上町	16世紀末	最上氏	石垣・土塁	天守櫓は1953年に復元された。現在は博物館として利用されている。
② 出羽国最上郡 最上郡 最上城	山形県最上郡最上町	16世紀末	最上氏	石垣・土塁	天守櫓は1953年に復元された。現在は博物館として利用されている。
③ 出羽国最上郡 最上郡 最上城	山形県最上郡最上町	16世紀末	最上氏	石垣・土塁	天守櫓は1953年に復元された。現在は博物館として利用されている。
④ 出羽国最上郡 最上郡 最上城	山形県最上郡最上町	16世紀末	最上氏	石垣・土塁	天守櫓は1953年に復元された。現在は博物館として利用されている。
⑤ 出羽国最上郡 最上郡 最上城	山形県最上郡最上町	16世紀末	最上氏	石垣・土塁	天守櫓は1953年に復元された。現在は博物館として利用されている。
⑥ 出羽国最上郡 最上郡 最上城	山形県最上郡最上町	16世紀末	最上氏	石垣・土塁	天守櫓は1953年に復元された。現在は博物館として利用されている。
⑦ 出羽国最上郡 最上郡 最上城	山形県最上郡最上町	16世紀末	最上氏	石垣・土塁	天守櫓は1953年に復元された。現在は博物館として利用されている。
⑧ 出羽国最上郡 最上郡 最上城	山形県最上郡最上町	16世紀末	最上氏	石垣・土塁	天守櫓は1953年に復元された。現在は博物館として利用されている。
⑨ 出羽国最上郡 最上郡 最上城	山形県最上郡最上町	16世紀末	最上氏	石垣・土塁	天守櫓は1953年に復元された。現在は博物館として利用されている。
⑩ 出羽国最上郡 最上郡 最上城	山形県最上郡最上町	16世紀末	最上氏	石垣・土塁	天守櫓は1953年に復元された。現在は博物館として利用されている。

この跡地は、天守櫓の礎石と土塁の遺構が確認されている。現在は公園として整備されている。

概要／北海道・東北における城の特色

チャシと城址

北海道には、「チャシ」と呼ばれる城郭風の遺跡が多く出土している。チャシはアイヌ語で「種」「圃」を意味する。峠や丘の先端や、台地の崖面、小山の頂上、湖や沼地の小島などに築かれ、狭い空間で区画した程度の面単なつくりだ。そもそも祭祀や談判の場として使われ始めたと考えられている。約六百の遺跡が、日高、十勝、釧路根室といった東部を中心に分布する。

チャシは、かつては古代・中世の審美観と考えられていたが、遺跡の中には、寛政十七年（一八〇〇）に噴火した駒ヶ岳山麓に見られる火山灰が確認されたものがあり、近世につくられたチャシらしいことがわかった。アイヌ民族の酋長・シヤクシヤインの勢力範囲と分布が異なることから、アイヌ民族と松前藩との抗争に際して築かれたものも少なくないと考えられている。

東北地方各県に分布する「蝦夷館」は、チャシとも伝えられる。これは蝦夷の最前線を示している。蝦夷館に對抗し、朝廷が蝦夷の懐柔と開拓のために築いた砦が「城址」だ。本棚や築地盤で囲まれたつくりで、城というよりは、開拓のための砦。出羽県、包麻村、玉瀧村、雄勝城、伊預城、胆沢城、志波城、徳丹城などを設け、遠征軍は北上していった。

↑一覧表で城のデータがひと目でわかる ↑各地方ごとの特色を解説

**【書誌情報】**  
 判型:A5判  
 (210mm×148mm)  
 ハードカバー  
 ページ数:672ページ  
 色:1色  
 重さ:約1kg

編著:日本城址研究会 (にほんじょうしけんきゅうかい)  
 編集プロダクション“ヴァイトゲン社”と複数の城郭ライターとで構成。“ヴァイトゲン社”は、『探訪 日本の城』(全11巻)(1977~78年、小学館)、西ヶ谷恭弘 編『日本城郭古写真集成』(1983年、小学館)、『写真紀行 日本の城』(1988年、集英社)などの担当編集長が設立。“ヴァイトゲン社”設立後も、『日本城郭大事典』(1997年、新人物往来社)、中山良昭 編著『もう一度学びたい 日本の城』(2007年、西東社)、中山良昭 監修『日本の城 完全名鑑』(2013年、廣済堂出版)など城や日本史に関する数多くの書籍・ムックを制作している。

2021年5月7日受注締切 / 6月21日搬入予定

4 ヶ 月 長 期	<b>日本の城辞典</b>		冊	貴店番線印
	編著:日本城址研究会 ISBN:978-4-405-10812-7 定価:本体4,500円+税 672P A5判			
ご担当			様	

★ 新星出版社 営業担当: 〒110-0016 東京都台東区台東2-24-10  
 TEL: 03-3831-0743(代)

ご注文は 営業本部FAXまで **03-3831-0758 (fax)**

※画像はすべて仮画像になります。  
 2021.03.08作成